

競泳人生「極められ幸せ」

今井月さん、アクトス各務原店でトーク

「感動を伝える仕事したい」

競泳女子の2016年リオデジャネイロ五輪代表で、昨年9月現役を引退した今井月さん(24)＝岐阜市出身＝によるトークショーが20日、各務原市鵜沼各務原町のスポーツクラブアクトス各務原店であり、ジュニア選手らに競技生活の思い出やモチベーションの保ち方などを伝えた。

(亀山裕斗)

トークショーで今井さんは、自身のジュニア時代を「『他の選手より一歩前に進む』という意識の強い子どもだった」と分析。「小学4年生の時には、ジュニアオリンピックに出たい、優勝したいという気持ちを持っていた」と語った。

競技生活の中で一番印象

深かったこととして、リオデジャネイロ五輪代表選考会を挙げ「ガチガチの緊張の中で、目標を達成できた」と振り返った。

参加したジュニア選手からの「タイムが伸びない時の乗り越え方は」との質問に対し、今井さんは「昔の泳ぎを追い求めるのではなく、今の自分の体重や感覚に合った方法を実践すること」と助言した。

今井さんはトークショーの後、岐阜新聞社などの取材に応じ、セカンドキャリアについて「スポーツなどの感動を伝える仕事に挑戦したい。岐阜でも水泳の楽しさを広める活動をして、

恩返しできたら」と心境を述べた。現役引退の理由を「パリ五輪出場を目指し、ベストを尽くした。それでも昨年3月の代表選考会で落選し『また挑戦しよう』という気持ちが湧かなかった」と説明。「好きな水泳をたくさんの人に応援してもらえて、極められた。幸せだった」と3歳から21年間続いた競技生活を振り返った。

イベントは、今井さんの現役時の所属先であるパロールホールディングスが主催し、約130人が参加した。ジュニア選手や愛好家らへの水泳教室もあった。



トークショーに臨む今井月さん＝各務原市鵜沼各務原町、スポーツクラブアクトス各務原店



参加者に水泳の指導をする今井月さん＝同